

市内産電力を公共施設で利用する“電力の地産地消”を開始

このたび、公共施設において、市内の山林の間伐材等を活用して発電された再生可能エネルギーの電力を利用する“電力の地産地消”を始めます。これにより、カーボンニュートラルの推進を図ります。

【本件のポイント】

- 三条保内発電所で発電した再生可能エネルギーの電力を公共施設で利用開始
- 電力の地産地消の実現により、カーボンニュートラルを推進

【本件の概要】

1 経緯等

間伐材の利用促進と里山環境の保全を目的に、平成29年に木質バイオマス発電所である三条保内発電所（SGET グリーン発電三条合同会社）を誘致し、市内などの林業で発生した間伐材のチップを燃料に発電を行っています。

当該発電所の電力を「みんな電力（株式会社 UPDATER）」を通じて公共施設が購入することで、電力の地産地消を実現しました。

2 公共施設での利用開始日 4月から順次

3 実施する公共施設

かんきょう庵、大面体育館、ウエルネスただ、グリーンスポーツセンター、中浦ヒメサユリ森林公園、八木ヶ鼻オートキャンプ場、白鳥の郷公苑、三条鍛冶道場、丸井今井邸、旧青少年育成センター、井栗公民館、本成寺公民館、下田公民館、塚野目保育所、月岡保育所、あそぼって、大崎児童館（合計17施設）

4 CO2 排出削減効果

年間で約34haの森林が吸収する約185tのCO2を削減します。

■ 三条保内発電所（SGET グリーン発電三条合同会社）の概要

所在地：三条市保内工業団地

出力：発電規模6,250キロワット

年間約42,700メガワット ※一般家庭約1万3千世帯分

■ みんな電力（株式会社 UPDATER）

電力小売事業、再生可能エネルギー発電所の開発・販売等を行う企業。「顔の見える電力™」の取組により、利用者が再生可能エネルギー発電所を選んで電力を購入することができます。

【問合せ】 三条市市民部 環境課 環境衛生係 西川、阿保

電話：0256-34-5558